

色弱者やお年寄りに配慮

信号機押しボタン製品化

県警 白色LEDの文字光る

徳島県警が、色弱者にも文字が見えやすいよう配慮された信号機の歩行者用押しボタンを民間企業と共に製品化した。2012年から試作機による実証実験をした結果、白色LEDを使った文字

が、従来の赤い文字に比べ、見えやすいことが確認された。13年度から、県内の一部の箇所では新製品への取り換えを進める。新製品は、ボタンを押した際の「おまちください」の文字が白く光る。



色弱者らに配慮し県警が新しく製品化した歩行者用押しボタン(左)と現行の押しボタン—県警本部

た。上面には文字、側面には反射材も取り付けた。表示に赤い文字を使うと決められていた警察庁の仕様が09年に変更されたのを機に、県警は県立工業技術センターの協力を得ながら、日本フネン(吉野川市)と新製品開発に着手。12年1月から

徳島市南矢三町2の県立障害者交流プラザ前で実証実験をしたところ、好評だった。今後、学校の周辺や高齢者の利用が多い場所などを中心に、県内全域で取り換えを進める。将来的には他の都道府県警への販売も目指している。(岡田麻衣)